



けやきの子

上山市立南小学校
令和7年度学校だより
第3号

令和7年 5月15日

発行：校長 吉田健志

強く 高く 美しく めざせ けやきの子ども

運動会に向けた取り組みスタート5/12

5月30日に行われる運動会に向けて、各係がスタートしました。だいち学年にとっては、小学校最後の運動会。今年度は、徒競走の代わりに全校種目が行われます。「わたしがつくる運動会」がどれくらい実現するのか、各係での活動がとても重要になってきます。

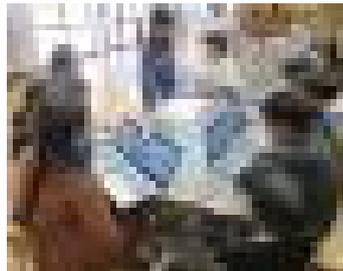
今日は、第1回の係会なので、自己紹介や活動のめあて決めなどを行っていました。

【アナウンス係】

・自己紹介や係活動への抱負などを、係長から一人一人発表していました。アナウンス係ということもあり、みんなハキハキと話していました。

【組看板係】

・自己紹介等が終わり、早速シンボルとするキャラクター等をタブレットで探していました。



【実行委員会】

・今年の運動会をどのような運動会にするのかに直結する、スローガンについて話し合っていました。

令和7年度児童会総会

5月8日、今年度の児童会総会が行われました。例年2時間使って行われていましたが、今年度は要点を絞って話し合いを行いました。委員会紹介の後の話し合いは2つ。児童会スローガンについてと生活委員会の活動内容についてです。

原案が「一人一人が日本一を目指す ～あいさつ・元気・助け合い～」というスローガンについては、賛成意見も出ましたが、一部の言葉をもっとこうの方が良いという建設的な意見も出されました。委員会に持ち帰って検討するとのことで、原案がそのまま出てくるのか、それとも変わる部分があるのか楽しみですが、いずれにせよ、話し合いを行う前から一人一人の思いが加えられバージョンアップしたものとなるでしょう。



一方、生活委員会の活動内容については、主にネームプレートを忘れず付けるための活動内容が提案されました。ネームをしっかりとつけることは、名前前で呼び合い仲良くなることにつながるため賛成というような意見が出されました。早く名前を覚え、名前前で呼び合うけやきっ子の仲間になることにつながればと思います。

短い時間の中でしたが、活発な意見が出て、4・5・6年児童のやる気を感じる時間でした。

12日の朝会で、児童会スローガンの検討結果が報告されました。「一人一人が日本一を目指す ～あいさつ・**勇氣**・助け合い～」。です。一部意見が取り入れられ、今年度のスローガンが決定です。このスローガンが達成できるといいですね。全校一丸となって取り組んでいきましょう。

風薫る5月、様々な学習活動

2年生 クアオルト体験5/13

5月らしい清々しい晴天となった13日、2年生は、クアオルト葉山コースに挑戦。ガイドの2名の木村さんからコースの魅力を教えていただきながら、葉山の景色や湧き水、大きな幹、山菜などを五感を使って感じてきました。

帰ってきた子ども達は、顔を真っ赤にして「疲れたー！」などと言いながらも、とてもいい笑顔でした。その傍らで5年生が2年生の給食準備を手伝っていました。きっと給食準備に間に合わないだろうと、声がけしたら快く引き受けてくれたそうです。笑顔で手伝う5年生の姿もとても素敵で、「助け合い」という「あいのある学校」の1シーンを見せてもらった気がしました。



今年もたくさんのサポートをいただきながら5年生裁縫の学習

コミュニティスクール4年目となり、今年もたくさんの地域の先生にお手伝いいただきながら、5年生の家庭科の裁縫の学習が始まりました。最初のハードルである「玉結び」「玉留め」やボタン縫いなどに苦戦する子ども達に懇切丁寧に教えてくださるので、子ども達は安心して、そして諦めずに手縫いをしていました。この日5年1組の授業にお手伝いいただいた方は、なんと9名でした。児童約4名に1名先生がいるというのは、とてもありがたいことです。これからもたくさんの方にお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

小中連携授業研究会 5 / 9

9日、南小は午後1時前に下校となり、先生方は南中で研究会に参加してきました。先生方が学ぶ時間です。

まず参観したのは、2年生の英語の授業です。令和5年度卒業生の懐かしい顔ぶれでした。英語が得意な生徒も苦手な生徒も、ペアやグループで学び合いながら学習が進んでいました。分からないことがあっても躊躇せずに聞き合えるととても良い雰囲気でした。

小中連携でめざす子ども像は、「自ら動き出し、学びの主体になる」子どもです。教科学習の「関わり」で目指す姿の具体は、中学校3年生までに「課題解決に効果的な関わり方を選択し、関わり合いながら課題を解決する」と考えています。その姿に近づきつつある英語の授業でした。

授業参観後は、今年度まとめの年となるこの小中連携教育について、改めてその目的とこれまでの取り組みについて確認しました。その後、山形大学の森田先生の講話をお聞きしました。この日の授業の子ども達の姿から、授業改善が進んでいるという言葉いただきました。また、私たちが向かうべき学校の姿として「全ての子どもが学び・育ち合う学校、全ての教師が教育の専門家として学び・育ち合う学校」と示していただきました。この言葉を胸に、日々取り組んでいきたいと確かめ合ったところです。

